

# 2023年3月期 中間決算説明会

2022年11月1日

J B C Cホールディングス株式会社

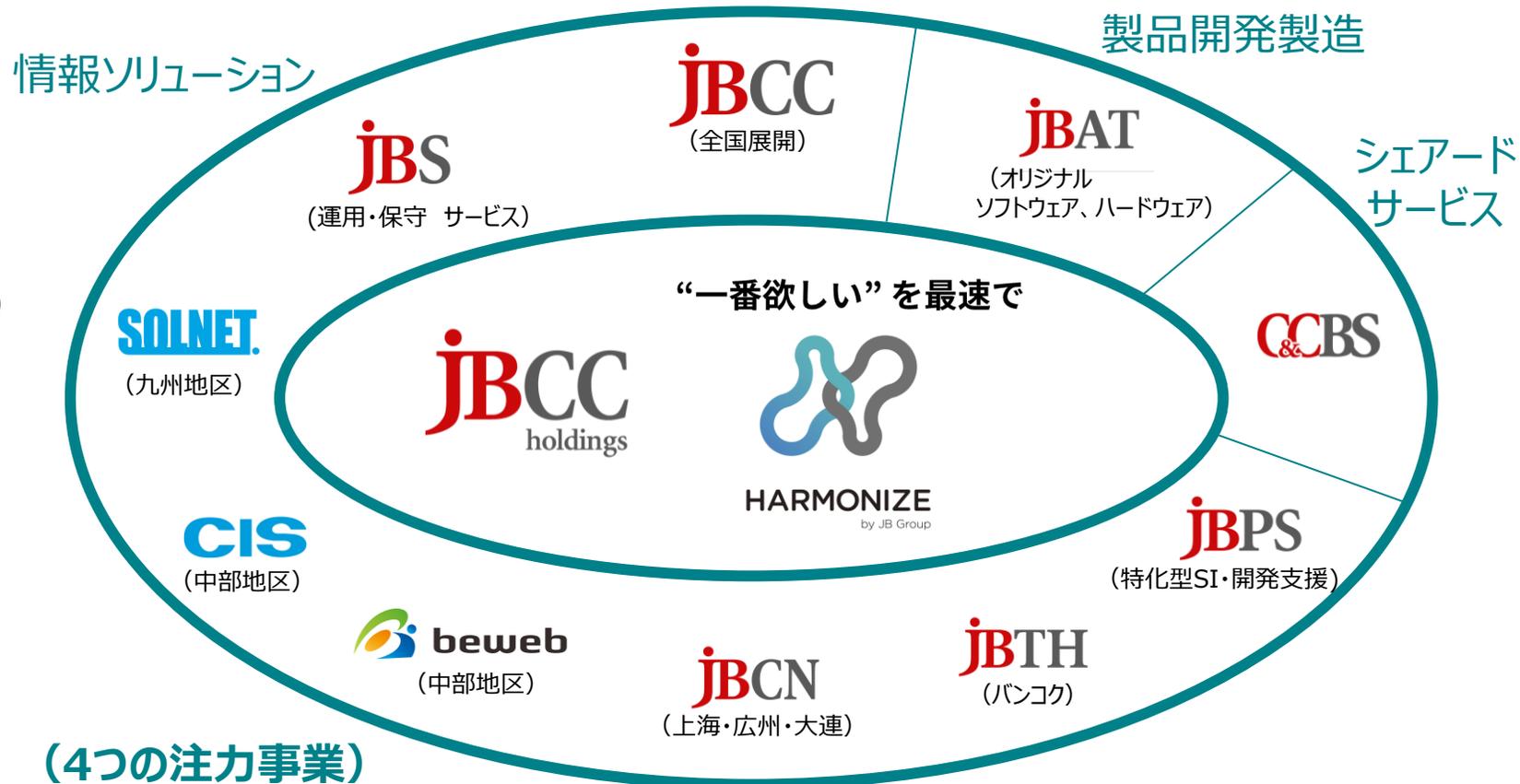
1. 上半期決算概要および中期経営計画進捗状況
2. 注力事業の説明
  - ①超高速開発
  - ②クラウド
3. 人財への投資

# 会社概要

HARMONIZE  
by JB Group

社名 : J B C Cホールディングス株式会社  
[プライム市場 情報・通信業 9889]  
設立 : 1964年4月1日  
資本金 : 47億13百万円  
社員数 : 2,004名 [有期社員を含む連結ベース]  
事業会社 : 10社  
(国内 50拠点、海外 4拠点)

## お客様のDXを実現するITサービス企業グループ



(4つの注力事業)

超高速開発

クラウド

セキュリティ

クラウドデータ連携

画像出典元：三井不動産



首都圏オフィスを統合し、2023年2月より、東京ミッドタウン八重洲へ本社を移転予定

※2022年10月1日現在

## ➤ 成長トレンドへの転換 スtockビジネスの伸長

---

売上高 対前年同期比+4.8%

## ➤ 注力事業が伸長、着実に事業構造変革が進む

---

営業利益伸長 対前年同期比+22.8%

## ➤ 利益予想の上方修正実施

---

修正増減率：営業利益+9.1%、経常利益+8.8%、当期純利益+8.5%

## 中期経営計画「HARMONIZE 2023」のもと、 事業構造の変革により売上高、営業利益ともに対前年同期比増

(百万円)

	23年3月期 上半期実績	前年同期比	上半期公表値に 対する進捗率	通期公表値に 対する進捗率 (修正前)
売上高	28,889	<u>+ 4.8%</u>	103.7%	51.1%
営業利益	2,048	<u>+ 22.8%</u>	111.3%	62.1%
経常利益	2,171	+ 22.1%	112.5%	63.9%
当期純利益 (親会社株主に帰属する当期純利益)	1,505	+ 19.8%	111.5%	64.1%

## 注力事業の成長により、SI・サービス共に売上・利益が着実に伸長

(百万円)

事業ドメイン	売上		売上総利益		売上総利益率	
		対前年同期比		対前年同期比		対前年同期比
情報ソリューション	27,897	+ 4.9%	8,276	+ 5.5%	29.7%	+ 0.2pt
SI	<b>7,970</b>	<b>+ 14.3%</b>	<b>2,850</b>	<b>+ 20.0%</b>	35.8%	+ 1.7pt
サービス	13,410	+ 3.4%	4,108	+ 2.4%	30.6%	- 0.3pt
システム	6,517	- 2.0%	1,317	- 9.6%	20.2%	- 1.7pt
製品開発製造	992	+ 0.9%	636	+ 9.3%	64.1%	+ 4.9pt
合計	28,889	+ 4.8%	8,913	+ 5.8%	30.9%	+ 0.3pt

# 中期経営計画「HARMONIZE 2023」注力事業 進捗状況 HARMONIZE by JB Group

## 4つの注力事業がそれぞれ順調に成長

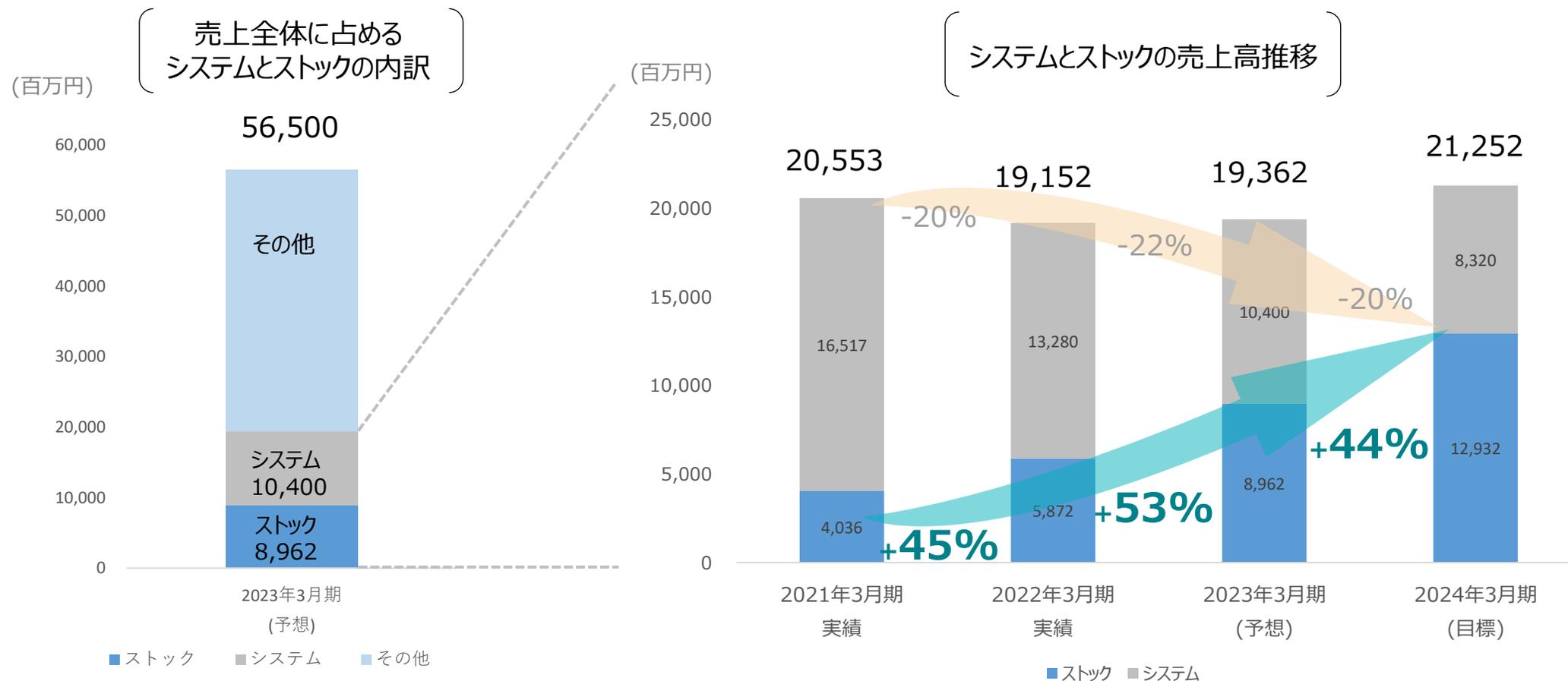
特に **クラウド** **セキュリティ** ストックビジネスが大幅成長し、事業構造変革に寄与 (百万円)

		2022年3月期 実績	2023年3月期		2024年3月期 目標
			上半期実績	通期予想	
超高速開発	SI全体占める超高速開発比率	54.7%	60.7%	67.1%	70%
	売上高	5,839	3,613	8,817	
	対前期比/対前年同期比	+ 45.4%	+ 33.0%	+ 51.0%	
	受注高	6,292	4,623	9,344	
	対前期比/対前年同期比	+ 71.2%	+ 60.0%	+ 48.5%	
クラウド	売上高	3,169	<b>2,250</b>	<b>5,110</b>	CAGR 46%
	対前期比/対前年同期比	+ 51.9%	<b>+ 61.1%</b>	<b>+ 61.2%</b>	
	新規の月額受注高累計	132	75	171	
	対前期比/対前年同期比	+ 67.2%	+ 10.3%	+ 29.6%	
セキュリティ	売上高	2,701	<b>1,756</b>	<b>3,852</b>	CAGR 42%
	対前期比/対前年同期比	+ 38.5%	<b>+ 45.8%</b>	<b>+ 42.6%</b>	
	新規の月額受注高累計	90	65	123	
	対前期比/対前年同期比	+ 79.3%	+ 37.8%	+ 37.5%	
クラウドデータ連携	累計契約本数	706	1,279	2,000	10,000
	対前期比/対前年同期比	+ 553.7%	+ 411.6%	+ 183.3%	

※クラウド及びセキュリティの売上高・新規受注高はストック

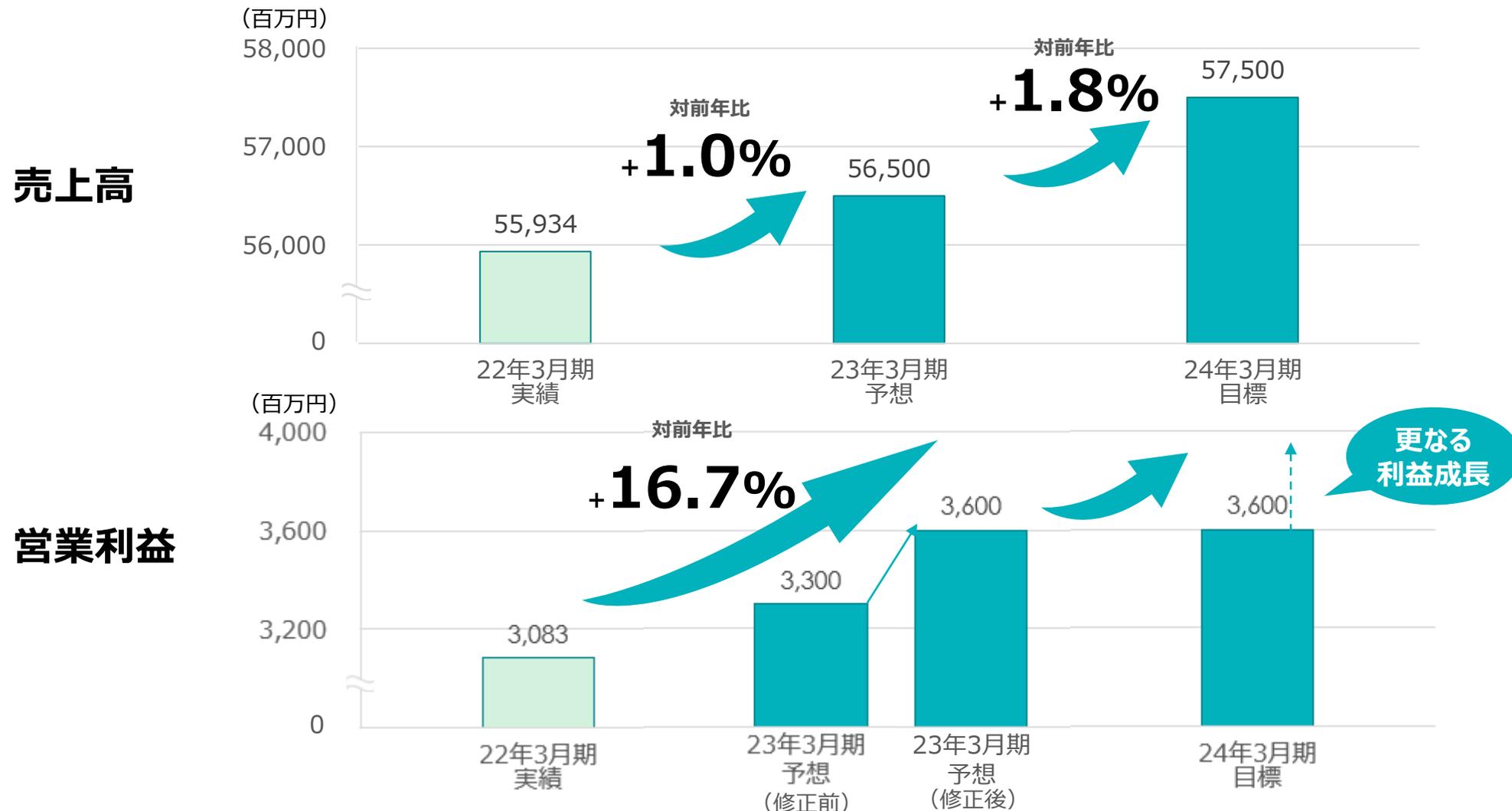
# 事業構造変革がもたらす売上内訳の変化

**クラウド** **セキュリティ** **ストックビジネスの売上高が**  
**システム（ハードウェア販売等）の減少幅を超え、安定的な売上構造に変革**



# 中期経営計画「HARMONIZE 2023」進捗状況

## 営業利益について中期経営計画最終目標値を前倒して達成見込み



# 2023年3月期 通期業績予想/株主配当

## 通期業績予想 収益構造の変革が加速、利益目標を上方修正

(百万円)

	通期業績予想 修正前	通期業績予想 修正後	増減率	通期業績予想 修正後 対前年比
売上高	56,500	56,500	—	+ 1.0%
営業利益	3,300	<b>3,600</b>	<b>9.1%</b>	<b>+ 16.7%</b>
経常利益	3,400	<b>3,700</b>	<b>8.8%</b>	<b>+ 14.6%</b>
当期純利益 (親会社株主に帰属する当期純利益)	2,350	<b>2,550</b>	<b>8.5%</b>	<b>+ 13.6%</b>

## 株主配当 上方修正に伴い増配

	2023年3月期予想 修正前	2023年3月期予想 修正後
中間配当	31.0	31.0
期末配当	31.0	<b>37.0</b>

1. 上半期決算概要および中期経営計画進捗状況

2. 注力事業の説明

①超高速開発

②クラウド

3. 人財への投資

1. 当社の超高速開発のポイント
2. 超高速開発センターについて
3. アセットの蓄積と活用
4. 更なる成長に向けて

# 当社の「超高速開発」とは？

当社の超高速開発は  
**お客様の真の要件**をあぶり出し、  
**どこよりも高品質**なシステムを**どこよりも速く**お届けします。



\*ローコード開発とは ソースコードを極力書くことなく「グラフィカル・ユーザー・インターフェース/GUI」という視覚的な操作を用いることで、極めて短期間でのシステム開発を実現する手法を指しています。

## ウォーターフォール開発で発生する課題

- 要件と完成したシステムの乖離による手戻りリスク  
→ スケジュール遅延/追加コスト発生

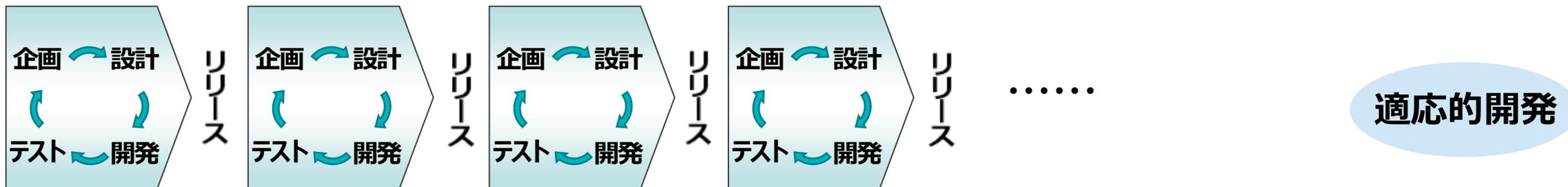
## アジャイル開発で発生する課題

- 要件定義を十分に行わないため、全体像を捉えられず、スケジュール管理がしづらい
- 要望が収束しない  
→ 大規模開発に向かない

## ウォーターフォール開発

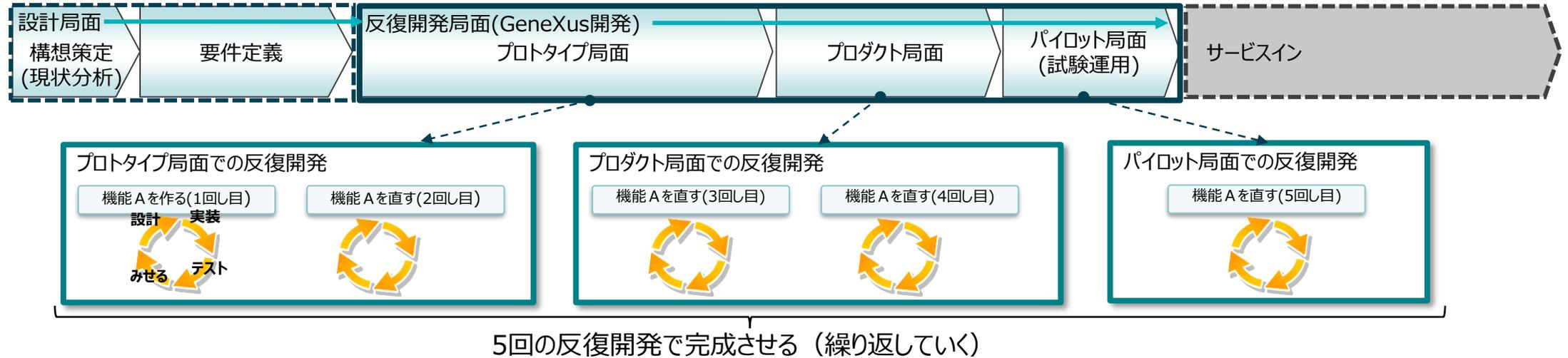


## アジャイル開発



# 「JBアジャイル」が一般的な開発手法での課題を解決

## 「JBアジャイル」の開発フレーム



## 「JBアジャイル」のポイント

- 『構想策定（現状分析）』実施による機能のスリム化
- **要件定義**を実施することにより**全体像を把握**
- 開発単位を細分化し**5回の反復開発**を実施
- 反復開発を通じた**要件/要望の確認**
- **アセット利用**による**品質とスピード**のさらなる向上

## 「JBアジャイル」が生み出す価値

**究極の  
見える化**  
(途中で確認できる)

- 真の要件を抽出
- 要望と乖離ない品質の高さ
- 圧倒的な開発スピード

## 超高速開発センター設立のねらい

- リソースを一元管理し、効率的アサイン
- 開発の標準化を推進し、品質の格差を排除
- 従来型スキル保有人員のスキルシフトを促進
- アセット蓄積を専任化し、情報を一元管理

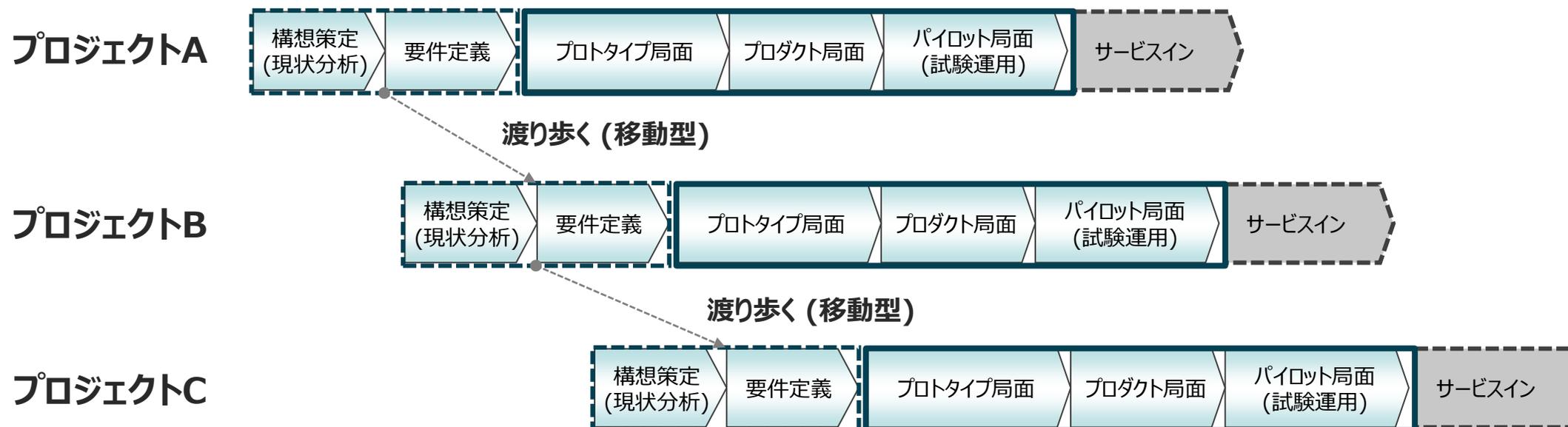
## 超高速開発センター設立のポイント

- **移動型セッションリーダーの設置**  
※セッションリーダー：反復開発セッションの実施責任者
- **プログラム開発組織の一本化**

## 移動型セッションリーダーの設置

- 専門性を深化させ生産性向上
- ノウハウを横展開し、後進育成

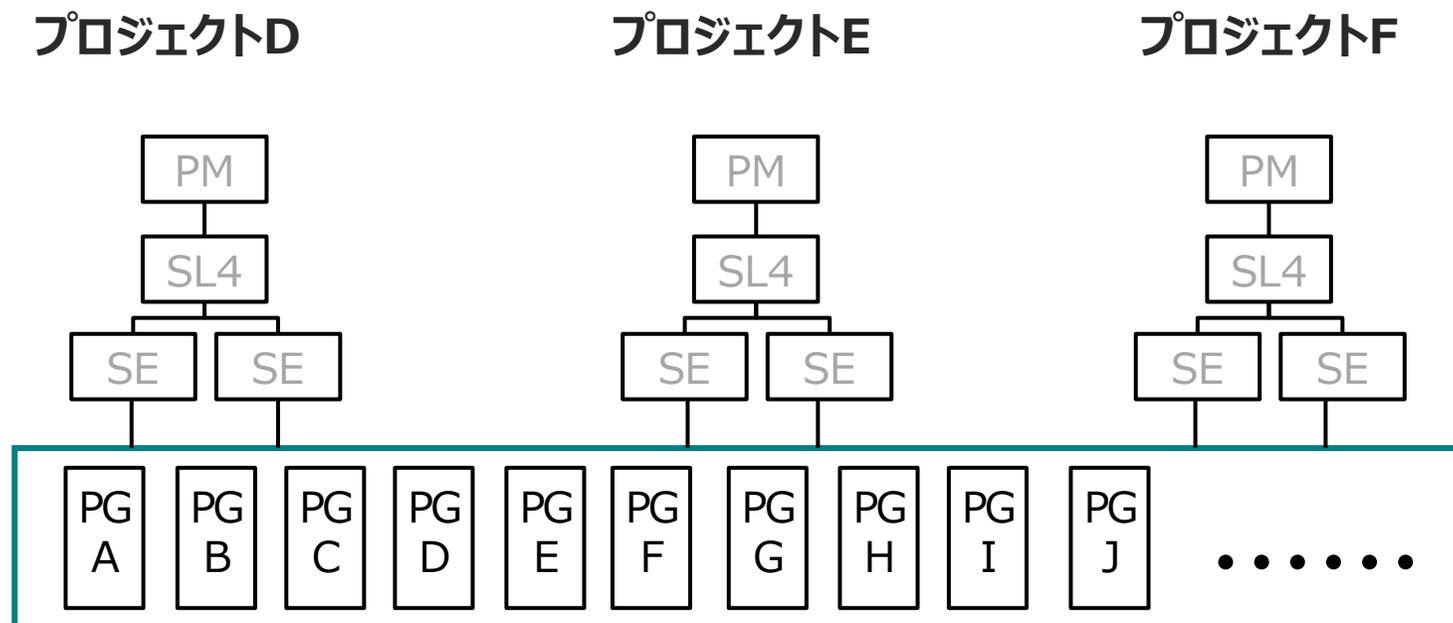
単一プロジェクトに留まるのではなく、設計局面を終えたら次のプロジェクトの設計局面を担当



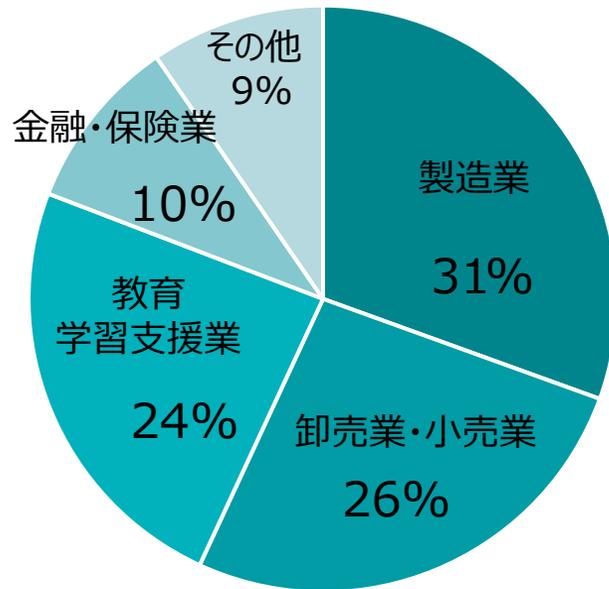
## プログラム開発組織の一本化

- 開発専任の組織とすることによる生産性向上
- アセットの利用を促進し効率向上

同一組織とすることにより、情報を集約し、アセットの利用を促進する



過去8年間で、440社以上の超高速開発実績



業種を問わず、アセットを活用し  
高品質なシステムを高い生産性で提供

業種大分類	主な開発システム領域
製造業	EDI連携
	販売管理
	検品管理
	作業実績工数管理
卸売業・小売業	修理受付
	販売管理
金融業・保険業	人事評価、給与計算
	負債時価評価
	契約申込受付 契約書到着、不備チェック管理
教育, 学習支援業	申込受付
	教室運営
	模試
	教材管理

アセット化専任  
組織により新たな  
アセットとして蓄積

- JBアジャイルの開発標準ドキュメント
- 業務フロー等の設計情報
- 開発済アプリケーション(プログラム、テーブル)

## SI事業成長の為に、超高速開発の売上比率を引き上げ、 アセットの徹底追及により、さらなる利益貢献を図る

### 超高速開発 拡大

- 資本参加も含めたパートナー企業拡大
- 協業によるパートナー企業のメリット
  - 手戻りリスクを排除したJBアジャイルで損失回避
  - JBグループの高利益を享受
  - アセット共同利用により生産性UP

超高速開発比率  
**70%以上**

### 利益向上

超高速開発センター設立のメリットを最大限に活かし、  
更なる**アセットの蓄積と利用**を推進し、利益率をさらに向上

利益率  
**40% +  $\alpha$**

1. 上半期決算概要および中期経営計画進捗状況

2. 注力事業の説明

①超高速開発

②クラウド

3. 人財への投資

1. JBグループのクラウドの強み – パートナー企業からの評価
2. IaaS – 「Eco One」について
3. SaaS – 「DXワークショップ」について
4. まとめ

## マイクロソフト・アワード2年連続受賞、今年度は IaaS/SaaS の双方で受賞

- ・2021年のAzure受賞に続いて、2022年も連続受賞。加えてSaaS（365）でも受賞。
- ・評価ポイントは「クラウド活用と定着化を支援」（パートナー約1万社から選出、**IaaS/SaaS 受賞は2社のみ**）

### ◆ Microsoft Azure Solution Assessments受賞

#### 評価ポイント

IT モダナイゼーション クリニックを通して

- コスト削減をKPIに移行から定着化まで支援
- インフラシステム全体の最適化

お客様クラウド化率  
90%以上



### ◆ Office 365/Microsoft 365 Employee Experience受賞

#### 評価ポイント

Microsoft 365ワークショップを通して

- お客様に合わせた利活用提案&導入定着支援
- お客様の成長戦略に沿ったロードマップの提案

73%のお客様が  
他社から弊社への切替

# J Bグループの IaaS「EcoOne」のお客様価値

- AWS/Azureを運用管理と最適利用機能付きで提供
- クラウド定着化/最適化のためのコスト監視&コスト最適化“能動型”提案サービスが好評

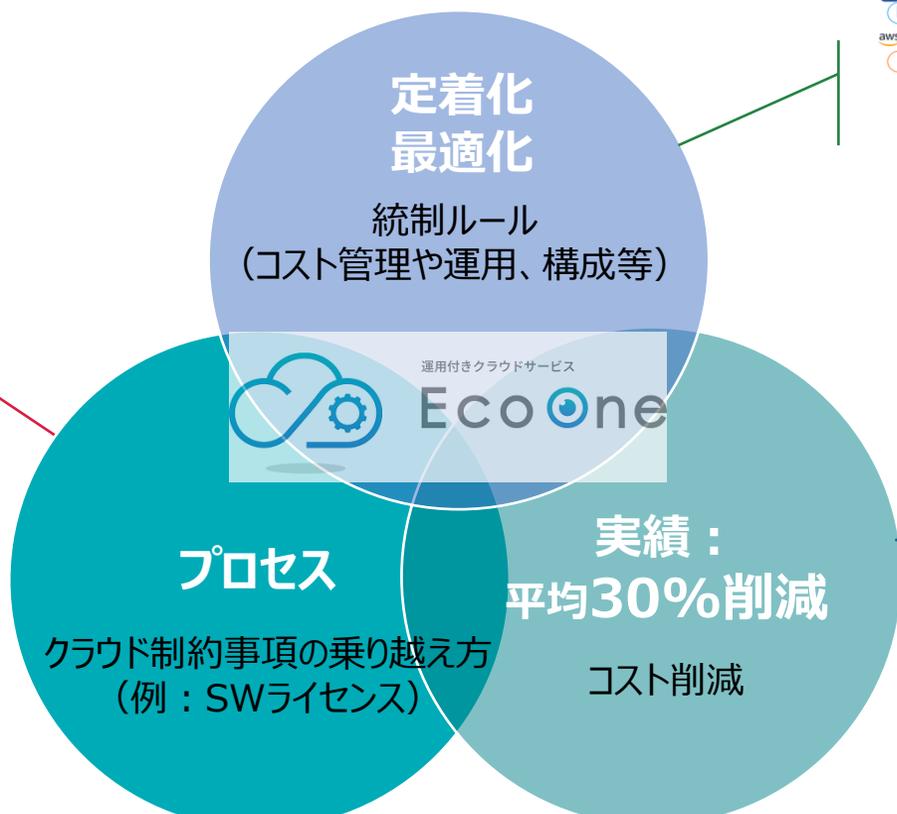
## J Bグループ クラウドの強み

JBCCクラウド移行コンサルテーションサービス(無償)  
コスト・ハイブリッド運用最適化に重点をおいたクラウド移行アセスメント

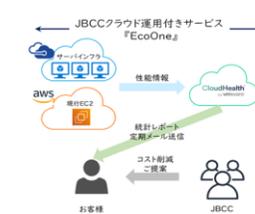
構想フェーズ		計画フェーズ		アーキテクチャ確定フェーズ	
クラウド検討 First Step		構築/Fit&Gap	移行方針・配置整合・ハイブリッドクラウド運用検討	アーキテクチャ確定	
クラウド 移行簡易診断	クラウド制約 整理	移行プラン 検討	非機能 要件定義	アーキテクチャ 策定	
<b>TCO最適化診断の実施</b> ◎企業ごとの運用管理 ◎MSP/CPAへの移行 ◎システム拡張費用 ◎HDD容量削減/SSD交換等 ◎オンプレミス/クラウド/ハイブリッド ◎クラウド構築費用シミュレーション ◎移行/運用/保守/廃棄/リソース最適化	<b>課題/対策の洗い出し</b> ◎クラウド移行/CPA/MSP/CPA ◎SaaS/クラウド構築/運用/保守 ◎クラウド構築/運用/保守/廃棄/リソース最適化	<b>移行シナリオ策定</b> ◎定額/従量/混合のクラウド移行 ◎ハイブリッドクラウド構築 ◎移行スケジュールの策定 ◎コスト削減/保守/廃棄/リソース最適化 ◎移行/運用/保守/廃棄/リソース最適化	<b>特化した要件定義</b> ◎SaaS/クラウド構築/運用/保守/廃棄/リソース最適化 ◎移行/運用/保守/廃棄/リソース最適化 ◎移行/運用/保守/廃棄/リソース最適化	<b>システム最適化</b> ◎クラウド移行/CPA/MSP/CPA ◎SaaS/クラウド構築/運用/保守/廃棄/リソース最適化 ◎移行/運用/保守/廃棄/リソース最適化	

JBCC Corporation

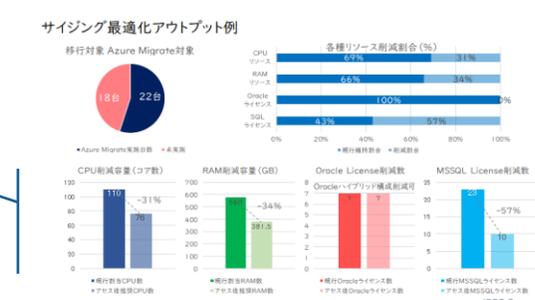
オンプレミスからクラウドへ  
クラウド移行の検討の進め方とは？



クラウド環境の可視化を提供する Cloud Health by VMware



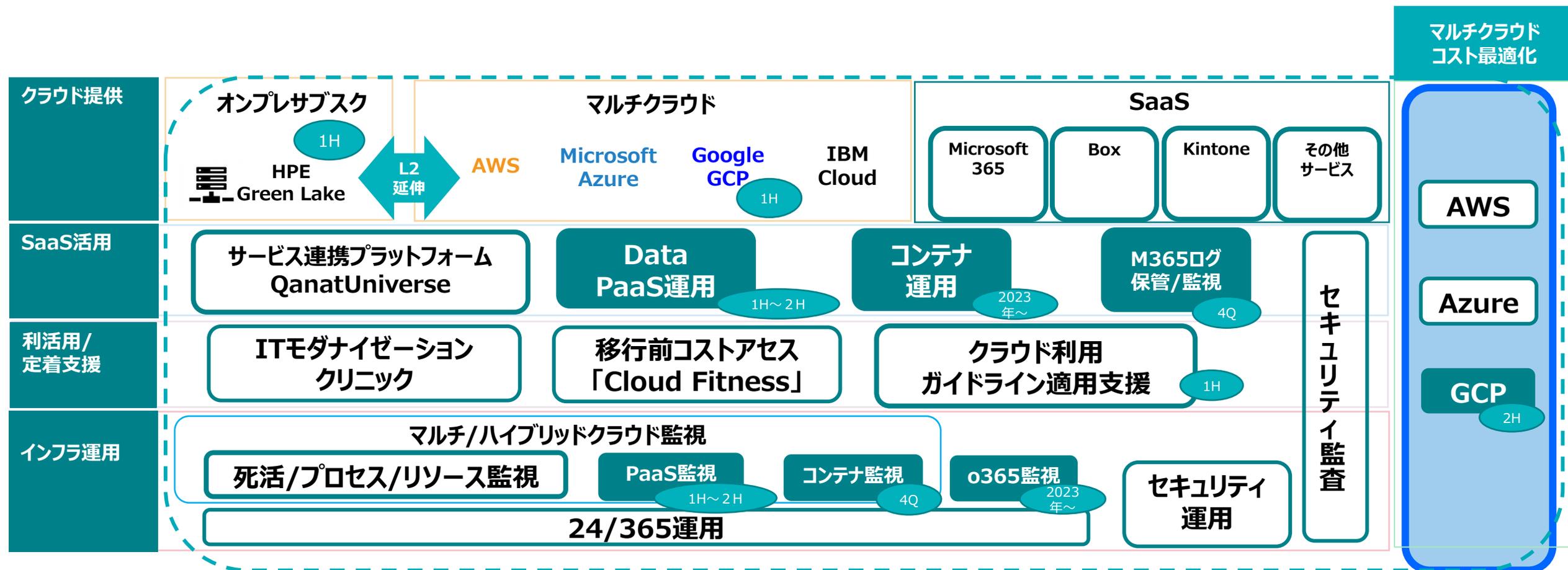
移行で終わりではない。  
使い続けるためのポイントは？



オンプレミスからクラウドへ  
コスト削減することは本当に可能か？

# J Bグループの IaaS EcoOne サービス全体像と拡張図

- IaaSコスト最適化+運用・セキュリティサービス提案で、限られた予算でDXを推進したい顧客要望に応える
- 高度化、多様化する顧客ニーズに応え、DataPaaS、コンテナ運用サービス、SaaSログ収集サービスを提供



New or Update : 今後発表するサービス

# J BグループのSaaS「DXワークショップ」のご紹介

HARMONIZE  
by JB Group



◆ Office 365/Microsoft 365  
Employee Experience受賞

## 評価ポイント

Microsoft 365ワークショップを通して  
➤ お客様に合わせた利活用提案&導入定着支援

## Microsoft 365 ワークショップとは

Microsoft 365を導入する上でこんなお悩みございませんか？



たくさん機能がありすぎて  
使いこなせるかわからない



社内に定着するか心配  
教育するためのリソースもない



自社に合った使い方が  
イメージできない



JBCCオリジナル「**Microsoft 365ワークショップ**」がオススメです！

セミナー/デモ/ハンズオン形式

使い方ディスカッション

定着サポート

機能が理解しやすい  
開催形式で進行



自分たちの働き方に合った  
使い方を  
ディスカッション



定着するまで  
定期的にサポートしてくれ  
るから安心



JBCCのMicrosoft 365ワークショップでは、Microsoft製品を熟知したスタッフがお客様に代わり、Microsoft 365の基本的な活用方法から定着までを無償でサポートするオリジナルワークショップです！ ※現在はオンライン対応のみとなります。

## お客様とJBグループソリューションスペシャリストが一体となり議論し解決策を共同で策定

### 【ワークショップの進め方 例】



確立されたクラウド利用・定着化に向けたコンサルティングサービスを無償で提供しています

➤ **SaaS : 「DXワークショップ」**

サービスの基本的な利用方法と、活用範囲拡大から定着までをサポート

\* SaaS コンサルティングサービス 実施実績 : 500件 (2021年4月~2022年9月)

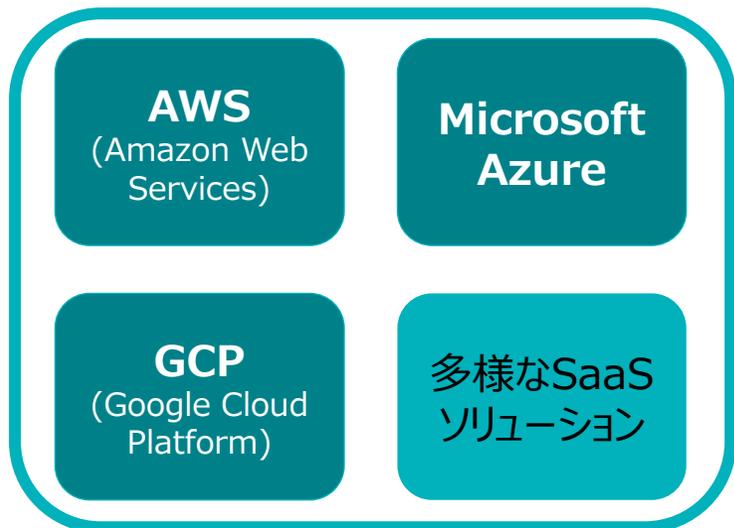
➤ **IaaS : 「IT モダナイゼーション クリニック」**

30%コスト削減を実現し、最適なインフラ環境の策定と移行までをサポート

\* IaaS コンサルティングサービス 実施実績 : 790件 (2014年4月~2022年9月)

## クラウド活用から定着化までご支援する、 コスト最適化サービス付き運用管理ソリューションのご提供

国内利用可能な  
主要クラウドサービス



運用サービスに加えて  
最適化サービスを提供



- **クラウドコスト最適化サービス**  
マルチクラウド、ハイブリッド環境に必要な管理機能を提供  
(障害管理、動的運用、コスト/使用状況可視化)
- **クラウド利用ガイドライン適用支援サービス**  
クラウドベンダーが公開している利用標準化ガイドラインに  
則り、顧客企業の運用方針を整理、ガイドラインを策定
- **クラウドセキュリティサービス**  
マルチクラウド時代に求められるID認証・アクセス制御・設定監査  
サーバ・データ保護ソリューションサービスを提供

1. 上半期決算概要および中期経営計画進捗状況
2. 注力事業の説明
  - ①超高速開発
  - ②クラウド
3. 人財への投資

## 社員一人ひとりの“挑戦”する気持ちを育み、価値を創造する企業グループへ

市場、お客様、社員から選ばれ続ける  
価値創造型の企業グループ

人財の育成  
専門性と多様性

企業文化の醸成  
変わる、挑戦する

働きやすい環境

組織改革・活性化

グループビジョン

「創り出そう、躍動する社会を。挑戦しよう、技術とともに。」

人財の育成  
専門性と多様性

- ・ HARMONIZEプロフェッショナルの育成
- ・ リスキング（超高速開発、クラウド、セキュリティ）
- ・ 中核人財の多様性への取り組み
- ・ 全員年俸制：2022年度昇給率3.12%（平均2.20%<sup>\*1</sup>）

企業文化の醸成  
変わる、挑戦する

- ・ 複業推奨<sup>\*2</sup>（キャリア・再入社・複業受け入れ）
- ・ 社内起業「イノベース」
- ・ 挑戦を共有・拡大する評価制度「Best Creation」

働きやすい  
環境

- ・ 自律した柔軟な働き方「Style J」
- ・ シニア 匠・極プログラム 125名（2022年3月末時点）
- ・ 育児両立支援、育休中給与8割保証
- ・ 首都圏オフィス統合（2023年2月移転）

組織改革  
活性化

- ・ 経営と社員の共創・コミュニケーション、経営会議への社員参画
- ・ 経営企画へのジョブローテーション
- ・ グループ一体の強化、グループ会社間出向

\*1 厚生労働省調査 主要企業（1,000人以上）の平均

\*2 通常「副業」と記載しますが、「正」「副」の区別なく「複」数の働き方を実現することを意図し、「複業」と記載しています。

## J B C Cホールディングス株式会社 経営管理 [e-mail : ir@jbcc.co.jp]

### 資料についてのご注意

- 本資料は、当社の業績及び事業戦略に関する情報の提供を目的としたものであり、当社の株式の購入や売却を勧誘するものではありません。
- 本資料に記載されている将来の動向や業績等に関する見通しは、リスクと不確定な要素を含んだ予測であり、将来の業績を保証するものではありません。実際の業績は、様々な要因により見通しとは異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。
- 本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。

# 別紙 1 事業セグメントのご説明

事業セグメント	事業の内容	
情報ソリューション	超高速開発、クラウド、セキュリティを中心に、企業の情報システムの構築及び運用・保守サービスなどを行っており、SI（システム開発）、サービス及びシステムに分類しております。	
	分類	内容
	SI	システム開発の領域を指し、注力分野の「 <b>超高速開発</b> 」を含みます。
	サービス	システム基盤関連やクラウドサービス、セキュリティサービスの導入・運用関連の領域を指し、注力分野の「 <b>クラウド</b> 」および「 <b>セキュリティ</b> 」を含みます。
システム	サーバ、ネットワーク機器等のハードウェアや、ソフトウェア・ライセンスの販売の領域を指します。	
製品開発製造	独自のソフトウェアや生産管理システムの開発・提供及びプリンター等各種ハードウェアの製造・販売を行っており、注力分野の「 <b>クラウドデータ連携（Qanat Universe）</b> 」を含みます。	